

練習の成果を存分に発揮することができたクリスマス発表会！(No. 3)



プログラム7番は年長のらいおん組による「オペレッタ：ピノキオ物語」です。見どころは、ピノキオとお人形がコラボしたダンスのところ。今流行りの「USA」を取り入れて、元気にそして楽しく踊るところです。踊りに子ども達の創意工夫が見られ、素晴らしいと感じました。全体的にみても、いつものらいおん組らしく、元気一杯に歌



い踊ることができていました。それは、練習でも「それぞれの役になり切ろうと、役に合った動きをしようと努力していた。」からです。発表会前の昼休みなどには、「ピノキオの歌を歌いながら遊んだり、普段の時でも友だちを役柄の名前で呼んだりする」など、この劇を演じることが楽しくてしょうがないといった様子が見られました。だから、セリフも大きい声でしっかり言うことができました。幼稚園最後の発表会。一生の思い出に残る劇になったのかもしれませんが。



プログラム8番は「合唱：世界にとどけ、天使の声」です。全園児で、「こどもがいっぱいわらってる」「赤鼻のトナカイ」を歌いました。小さい子にとって「振りを付けながら歌うことは難しい」とよく言われます。しかし、年長さんが覚えるのが早かったため、その動きを見て年中・年少さんも一生懸命に練習に励む姿が見られました。



いい意味で年長さんが「よきリーダー」となっていたのです。発表会ではその成果がよく表れ、まとまりのある歌を見ている方に届けられたのではないのでしょうか。

プログラム9は、「フィナーレ：サンタさんと一緒に」です。亜沙美先生が、「みんながしっかりと頑張ったので、サンタさんが来ているようですよ。みんなで呼んでみましょう。サンタさ

ーん。」と言って、みんなで呼ぶと、舞台の袖から本物の(?)サンタクロースが現れました。そして、代表の子にクリスマスプレゼントを渡しました。代表の子は突然現れたサンタに少し驚きながらも、「ありがとう」と言って嬉しそうにプレゼントをもらっていました。その後は、全園児と全職員で「冬のプレゼント」を踊りました。中には、大きな声で歌いながら踊っている子もいました。練習の時からなぜか全員の息がぴったりと合い、毎日の練習がとても盛り上がる瞬間でした。まさに、全員で作りに上げる発表会を実感しました。

〔写真〕・・・元気いっぱいに演じることができた「らいおん組のオペレッタ」。一番素晴らしかったのは、息がぴったりと合った踊りです。普段から仲がいい証拠ですね！

最後に、保護者の方からの貴重なご意見を紹介したいと思います。

- クリスマス発表会は、親子共々楽しみにしていました。振付を覚えて大舞台上で踊るなんて今までは考えられませんでしたし、驚きと感動でいっぱいでした。こんな機会を作って下さった先生方にも本当に感謝しています。衣装のクオリティの高さにもビックリです。ありがとうございました。
- キレイな「U・S・A」すごく楽しませてもらいました。家でも音楽をかけてノリノリで踊っていました。いつも先生方の衣装、感激です。とてもすてきなクリスマス発表会でした。
- 各クラスとも練習を頑張った結果が表れていて、とても感動しました。先生方の衣装やダンスの工夫も素晴らしかったです。指定席のことですが、年長さんは出番も多いの分、前の席でもいいのでは？と思いました。
- とてもかわいいダンスを見ることができて、楽しかったです。衣装もクオリティが高くビックリしました。年中さん、年長さんも成長している様子が分かる演技や演奏を見せてくれて、来年、再来年とこの発表会を楽しみにすることができました。
- 会場が広くて、ゆっくりと見ることができました。衣装がどれもかわいくて、先生方はすごいなぁと感謝の気持ちでいっぱいです。